

「新時代に咲き誇る秋田」の礎を築く未来志向の建設行政

～次世代へつなぐ県土整備の取組と新たな魅力発信～

1. はじめに

秋田県は、日本で最も早いペースで進行する人口減少と、激甚化・頻発化する自然災害、そして高度経済成長期以降に整備されたインフラの老朽化という、極めて厳しい課題に直面しています。

こうした状況下において、建設行政が担う役割は単なる社会資本整備にとどまらず、県民の生命と財産を守る「気候変動等に対応した災害に強い地域社会の実現」、地域経済に貢献する「社会経済活動を支えるインフラの強化」、人口減少下でも安全な暮らしを次世代に引き継ぐ「持続可能なインフラマネジメントの実現」という、本県の未来を左右する重責であると認識しています。

2. 災害に強い地域社会の実現

本県は、令和4年から4年連続で大雨被害を受けており、河川改修や災害リスク情報の提供等、ハード・ソフト一体となった対策に取り組んでいます。

県内では成瀬ダムと鳥海ダムちょうかいという2つの国直轄ダム事業が進捗しているほか、令和5年に洪水被害が発生した太平川では、河川激甚災害対策特別緊急事業により、短期間で集中的な河川改修を実施しています。

また、秋田市では古川排水機場等の整備を進めており、内水氾濫対策も含め、国・県・市町村が連携した流域治水対策を強力に推進しています。

このほか、橋梁の耐震補強、市街地での無電柱化、

下水道施設及び住宅の耐震化等、大規模地震に備えた災害対策にも引き続き取り組んでまいります。



太平川・河川激甚災害対策特別緊急事業

3. 社会経済活動を支えるインフラの強化

広い県土を有する本県において、人口減少下でも、地域の活力を維持していくためには、物流や観光を支える高速道路や港湾施設等の整備が重要です。

令和7年度は、東北中央自動車道「横堀道路」のほか、日本海沿岸東北自動車道「二ツ井今泉道路」の一部開通等により、県内高速道路の全線開通に向けて大きく前進した年でした。

本県としても、秋田港と秋田北ICを結ぶ「秋田港アクセス道路」等、高速道路を補完する幹線道路網の整備を推進し、交流人口の拡大及び産業集積の促進を図ってまいります。

また、本県沖では4つの洋上風力発電促進区域が指定され、脱炭素化への貢献及び大規模プロジェクトを契機とした関連産業の呼び込みによる地域経済への波及に対する期待が高まっています。



秋田県知事 ^{すずき}鈴木 ^{けんた}健太

県内港湾が、洋上風力発電設備の建設・維持管理の拠点として活用されるよう、ふ頭用地の確保や岸壁の整備に取り組んでまいります。

4. 持続可能なインフラマネジメント

高度経済成長期以降に整備されたインフラの老朽化が加速度的に進行していくことから、長寿命化計画に基づき、修繕・更新等を進めてまいりました。しかし、人口減少等の社会経済情勢の変化を踏まえれば、全ての施設を従来の手法や水準で維持することが難しくなっていくものと考えます。

このため、限られた財源や人員で最大限の効果を発揮できるよう、ICTやAI等の活用による管理の高度化、多様な主体との協働、施設の集約・再編等、あらゆる手法を駆使し、インフラマネジメントの最適化に挑戦しています。

5. 担い手確保に向けた魅力発信

ここまで述べてきた各種施策の推進に当たって、建設産業の担い手確保が大きな課題となっており、本県では、これまでも「建設産業活性化センター」を中心に、建設企業と高校生等とのマッチング、PRイベントの開催や企業ガイドブックの作成等、建設産業全体のイメージアップに関する取組を進めてまいりました。

また、令和7年度からは、SNS広告を活用した建設産業の魅力発信に取り組んでおり、「県内の10代・20代」をターゲットに、若年層への訴求

力の高い「縦型ショート動画」を配信しています。

配信後は、活用媒体や広告動画への反応を分析し、媒体ごとの広告量の配分を調整することにより、認知効率の向上にも取り組んでいます。

さらに、令和8年度は建設重機シミュレーターを活用した「eスポーツ」体験型イベントや技能職に特化した魅力発信イベントの開催も計画しており、建設業に対する旧来のイメージを刷新し、誰もが輝ける職場の魅力を発信し続けることで、業界全体の活性化と建設産業の担い手確保を実現してまいります。

6. おわりに

近年、国際情勢の変化や気候変動に伴い、エネルギーや食料等の安全保障の重要性が増大する中、多様な再生可能エネルギー源や広大な農地等、本県が有する大きなポテンシャルは、新時代を力強くリードする可能性を秘めています。

令和8年度からスタートする「秋田県総合計画」に基づき、大胆な発想と斬新な手法も取り入れながら未来を切り拓く施策を強力に推進し、秋田を新時代のトップランナーへと飛躍させ、「新時代に咲き誇る秋田」を目指してまいります。

また、本県では、令和8年8月に、秋田県・秋田市・一般社団法人 全日本建設技術協会の共催による建設技術講習会が開催されます。

ここ秋田の地で、皆さまとともに未来の建設技術を語り合える日を心待ちにしております。